

2025 年

# 6月 天理参考館イベント

## 2025 年 天理大学は創立百周年を迎えました



<b>第98回企画展 関連イベント</b>		<b>マンデートーク⑤</b>	<b>梅谷 昭範 学芸員</b>	①12:30～12:50 3F 常設展示室  ②13:00～13:20 1F エントランス ホール
6/2 (月)	<b>トーク1</b> 絆 —ヒトとヒトをつなぐモノ—	<b>トーク2</b> モンゴルの家系図	モンゴルの家系図を観察すると、その背景にある歴史や精神性を窺い知ることができます。今回はこれまでに分かった情報をまとめて紹介します。	エントランスホール 【無料】 <b>14:00～14:40</b> 今回は開催時間が 変更となります
6/7 (土)	<b>♪ 参考館メロディユース ♪</b> <b>天理が誇る若き弦楽の仲間が大集結！Vol.9</b> 出演 天理中学校弦楽部、天理高等学校弦楽部			エントランスホール 【無料】 <b>14:00～14:40</b> 今回は開催時間が 変更となります
6/9 (月)	<b>マンデートーク⑥</b>	<b>中尾 徳仁 学芸員</b>	<b>トーク1</b> 北京の看板	<b>トーク2</b> 纏足(てんそく)について
6/9 (月)	かつて中国には、女子が4～5歳になると足に長い布を巻いて固く縛り、大きくしないようにする習慣がありました。これを「纏足」といいます。今回は纏足に関する資料を紹介します。			1F 常設展示室 ①12:30～12:50 ②13:00～13:20
<b>6/10(火)～6/24(火) 常設展 展示替えのため 臨時休館</b>				
6/27 (金)	<b>講演会 / トーク・サンコーカン</b> <small>ホァンズ</small> <b>文字を描かない北京の看板「幌子」</b>			<b>中尾 徳仁 学芸員</b>
6/27 (金)	現在街頭で見られる看板には、多くの場合「商品名」や「商店名」などの文字が描かれています。しかし、かつて北京で使用された看板には、文字を描かない看板(中国語で「幌子(ホァンズ)」)がありました。この中には販売する商品そのもの、または商品の模型を吊り下げた分かりやすい看板だけでなく、まるで謎解きのように、何を扱う店なのか判断が難しい看板も含まれています。今回は当館所蔵資料の写真をご覧頂きながら、幌子についてお話しします。			B1 研修室 13:30～15:00 定員 100名 (当日先着順) 要入館券
6/30 (月)	<b>副館長とトーク “寝た資料を起こしました 常設展示”</b> <b>【第1回】3階オリエントコーナー 巽 善信 副館長</b>			3F 常設展示室 13:30～14:30 要入館券 全4回の開催予定 はこちら↓
6/30 (月)	2001年に新館がオープンしてから常設展示は基本変わっておりませんでした。この6月に臨時休館して展示替えを行います。再開にあたり、副館長が解説させていただきながら皆さまにご覧いただけます。展示のコンセプトやコーナーに変更はありませんが、およそ120点の資料が入れ替わる予定です。収蔵庫にずっと眠っていた資料もあります。皆様と楽しく会話しながら、資料の背景にあるストーリーをお話できればと思っています。			
<b>休館</b>	6/3(火)・6/10(火)～24(火)臨時休館			

天理大学附属天理参考館



X



Instagram